

R3年度 事業名	人間ドック検査料補助事業(国民健康保険会計)
R2年度 事業名	人間ドック検査料補助事業(国民健康保険会計)

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	国保年金課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	人間ドックの受診により病気の早期発見、早期治療につなげ、被保険者の健康維持とともに医療費の抑制を図る。				
	概要	人間ドックを受診した30歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対して、検査費用の一部を補助する。また、検査の結果要観察以上の人には医療機関への受診を促す。				
	コロナ対応 の取組	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受け入れ医療機関側に制限がかかる可能性があるため、検査項目や受診日が変更になる可能性がある旨を、助成申請時に周知している。				
法令 根拠		実施 形態	内容	当市で確保した病院で人間ドック受診枠での受診に対して、費用の一部を補助する。応募者多数の際は抽選。		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	人間ドック受診対象者への通知回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	当該事業定員に対する受診者の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	95.6	96.7	73.0		
	計算 根拠	(人間ドック受診者数+脳MRI受診者数)/人間ドック受診者定員 H24までは人間ドック受診者に占める60歳未満の男性の割合を指標としていたが、H25に対象年齢を拡大したことから定員に対する受診者の割合に変更、H28	達成率	95.6	96.7	73.0		
			実数値	478/500	464/480	292/400		
		ランク	A	A	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナの影響で、申請受付開始が遅れたため。また、受入病院も10月以降の対応であったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	国民健康保険事業特別
	予算額	15,938	15,965	15,496	13,480	13,475		事業タイ	交付金事業
	決算額	14,460	14,343	13,922	9,033			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	1	2	ヘルスパイオニア事業費	17,947	13,475	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	13,475

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	県2号交付金	6,707
2		
3		
4		
5以降		
合計		6,707

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	140

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

効率性
今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **10 / 20 B**

ACTION

R3方向性⇒ 維持

今年度 取組内容
年齢枠(30歳〜74歳)を維持して実施する。なお、定員に達しない場合は、秋以降市内の病院に限り新たに申請を受け付ける予定。秋以降の募集については、国保証一斉更新に同封するチラシに案内を入れ周知する。

来年度へ向けて R2年度の実績
292人に補助を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
これまで健康づくり課と連携して特定健診受診券に同封して人間ドック助成の案内を送付していたが、コロナによる実施時期のスレや送付量の問題により、令和2年度から人間ドック助成の案内を同封できていない。
利用者からも知らないうちに申請時期を過ぎていたという意見をいただくこともあり、事業周知不足が課題となっている。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
健康づくり課と協議し、特定健診受診券に人間ドック案内を再度同封できないか、また、特定健診受診券送付案内文などに人間ドック実施の告知スペースを設けることはできないか検討する。
さらに受診時期を選ばない補助金制度での助成を検討する。

R4方向性⇒ 事務改善

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒